

祝 春の叙勲受章



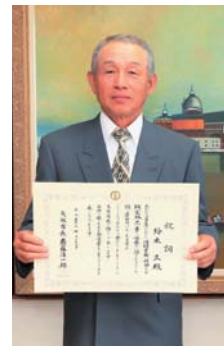
旭日小綬章
【地方自治】
石塚 和正さん
(片岡)

1987年から6期連続で矢板市議会議員を務め、副議長や議長などを歴任されました。



瑞宝双光章
【看護業務】
阿美 功子さん
(木幡)

1968年に看護師となり、70年から八汐苑勤務。現在も、居宅介護支援事業所八汐苑の主任介護支援専門員として勤められています。



瑞宝双光章
【消防功労】
鈴木 久さん
(幸岡)

1969年に矢板消防署に入り、塩谷広域行政組合消防指令長、2008年高根沢消防署長で退職しました。

祝 文部科学大臣賞受賞

4月24日(火)、「子供の読書活動優秀実践団体に對する文部科学大臣賞」を受賞した「おはなしポットの会」が市長を表敬訪問しました。会の創設から17年間にわたり、図書館や市内全小学校での読み聞かせ活動など、子どもたちの読書活動の推進に取り組んでいることが評価され、賞が贈られました。

佐藤三代子会長は「本の良さを伝えるのが私たちの役目。読み聞かせの活動が矢板の文化として根付くよう、活動を続けていきたい」と話してくれました。



▲(右から)
・齋藤市長
・石川さん
・佐藤会長
・井田さん
・伊原さん
・村上教育長

4/21(土) シルバーボランティア

長峰公園で、シルバー人材センター会員の皆さんによる奉仕活動が行われました。当日は、100人を超える方が公園入口や親水広場周辺の除草作業などを行いました。

また、5月11日(金)には、市役所周辺でシルバー大学校北校卒業生の皆さんによる奉仕活動が行われ、約40人の方が植栽回りの清掃を行いました。

これらの活動は、日頃の感謝ときれいな施設を多くの方に利用してもらいたいとの思いから、毎年行われているものです。活動に参加された皆さん、ありがとうございました。



▲シルバー人材センターの皆さん
◆シルバー大学校卒業生の皆さん

4/27(金) JAF と観光協定締結

市役所で、「日本自動車連盟(JAF)との観光協定」の調印式が行われました。この協定は、JAFの機関紙などの広報媒体で市の観光PRを行うほか、市内の優待施設を増やすことにより、交流人口の増加・市内滞在時間の延伸による地域経済の活性化を図ることを目的に結ばれたものです。

市長からは「車で旅行される方に立ち寄っていただき、矢板の四季を楽しんでもらいたい。お互いにメリットのある関係を築いていきたい」と話がありました。



▲(右から)
・JAF 栃木支部小平支部長
・齋藤市長

にぎわいをみせたゴールデンウィークイベント

GW期間中に道の駅やいたや長峰公園などでイベントが開催され、市内は例年以上のにぎわいをみせました。

GW最終日の6日には、東通りに場所を移して行われた軽トラ市が開催され、市内外から訪れた約20,000の方が、長峰公園でのイベントや食べ物など約80店舗での買い物を楽しんでいました。

また、同日に行われた駅からハイキングでコースとなっていた澤観音寺では、矢板東高校と同附属中学校書道部による書道パフォーマンスが行われ、観客たちは生徒たちの力強い演技に惹きつけられていました。



道の駅：バルーンアート

道の駅：似顔絵描き

駅からハイキング

駅からハイキング

軽トラ市：上棟式

軽トラ市：ステージイベント

書道パフォーマンス

軽トラ市：矢高吹奏楽部の演奏

5/1(火) 相樂さん W杯へ

6月に開幕するサッカーワールドカップロシア大会の審判団に副審として選ばれた相樂亨さんが市役所を訪れ、市長と山口忠男体育協会長に選出の報告をしました。相樂さんは、国際サッカー連盟の副審として多くの国際試合でピッチに立ち、W杯では3大会連続での選出となります。

相樂さんは「W杯を成功させるために、与えられた仕事を一生懸命取り組みたい。審判の動きや判定にも注目し、サッカー全体を楽しんでもらえれば」と語ってくれました。



▲(右から)
・齋藤市長
・相樂さん
・山口体育協会長
◆同日、相樂さんにはやいた応援大使の委嘱状が手渡されました。

5/13(日) NHK のど自慢

文化会館大ホールで、ゲストに石川さゆりさん・小金沢昇司さんを迎え、矢板市制施行60周年・NHK宇都宮放送局開局75周年記念事業「NHKのど自慢」の公開生放送が行われました。のど自慢の様子を一目見ようと予選会・本選合わせて約1,800の方が訪れ、会場は熱気に包まれました。

前日に行われた予選会に出場した約250組の中から選ばれた20組が、歌に家族や友人への思い乗せて、自慢の歌声をホールいっぱい響かせました。

